



かとう

第55号
2020.12

市議会だよ！

7月臨時会・9月定例会



—ウィズコロナ時代に対応できる議会を—
オンライン会議の研修を行いました。



12月定例会 KCVにて生放送、録画放送を行います ぜひご覧ください

新体制がスタート

議長に小川忠市 議員、副議長に高瀬俊介 議員

議長、副議長をはじめ、各委員会の構成などが決まりましたので、お知らせします。

議長 小川忠市

市民の「声」を市政に反映

11月5日の臨時会で第9代議長に就任いたしました。浅学菲才の身でその重責を痛感しております。

加東市議会は、積極的な議会改革が評価され、議会改革度ランキングは、全国第37位、兵庫県下では第2位と高い評価を受けております。しかし、政策立案や政策の提案など改革の本質は未だ道半ばです。

政策立案には、市民の意見や提言が大変貴重であり、その収集活動には議会が積極的に市民のもとに出向くなどの取組が必要です。

今後、市民の「声」が市政に反映されるように議会が一体となり「市民のために働く集団」となる取組を進めます。

どうぞよろしく願います。



副議長 高瀬俊介

議会の重要度

11月5日の臨時会で第9代副議長に就任いたしました。その責務の重大さに身の引き締まる思いでございます。

本市も合併14年が経過し、地方交付税が減少しており、社及び滝野地域小中一貫校建設費、社会保障費の増加等この先財政運営、市政運営が厳しくなる中、議会の重要度はこれまで以上に増してくると思えます。



二元代表制のもと、行政（市長）としてかりとした議論を重ね、市民の為の施策を実践していくことは勿論のこと、市政運営における課題を議員各々が共有し、議会が一丸となって取り組み、議長と共に円滑な議会運営に努めてまいります。

■議会運営委員会

◎委員長 小紫 泰良
○副委員長 大畑一千代
委員 山本 通廣 藤尾 潔 岸本眞知子 鷹尾 直人

■総務文教常任委員会

◎委員長 山本 通廣
○副委員長 藤尾 潔
委員 小紫 泰良 高瀬 俊介 廣畑 貞一 鷹尾 直人 北原 豊

■産業厚生常任委員会

◎委員長 岸本眞知子
○副委員長 長谷川幹雄
委員 井上 茂和 桑村 繁則 石井 雅彦 大畑一千代 古跡 和夫 別府みどり

■議会広報委員会

◎委員長 藤尾 潔
○副委員長 別府みどり
委員 小紫 泰良 岸本眞知子 石井 雅彦 長谷川幹雄 大畑一千代 古跡 和夫

■議会報告会実行委員会

◎委員長 高瀬 俊介
○副委員長 廣畑 貞一
委員 井上 茂和 山本 通廣 桑村 繁則 鷹尾 直人 北原 豊

議員報酬等の特例条例を制定

病気等の長期欠席は減額支給 刑事事件で逮捕 ⇒ 即支給停止

懲罰による出席停止も

9月定例会は9月1日（会期25日間）に開会し、新型コロナウイルス対策関連の一般会計補正予算や令和元年度各会計決算などを審議し、いずれも原案通り可決した。また、9月17日には11名の議員が一般質問を行い、当局の考えを質した。

◆和解及び損害賠償の額を定める（専決処分）

市が管理する闘龍灘 座の浜の柳の枝が突然折れ、駐車中の車両を破損させたため、修理費用等約76万円（内60万円は保険適用）を支払うもの。

【問】なぜ枝が折れたのか。市に賠償責任があるのか。
【答】虫害により折れたもの。座の浜は、国から河川占用を受けており、市に管理責任がある。



闘龍灘 座の浜（伐採後の柳の木）

◆一般会計補正予算（6号）

歳入では、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金とその他国庫補助金などで約4億6千万円、上中旧加東消防署跡地売却額で約1億円、ふるさと納税寄附額で2億6500万円増額する一方、市単費で対応することとしていたコロナ禍対策に地方創生臨時交付金を充当するなどにより、財政調整基金の取り崩しを約7億4600万円減額する。



旧加東消防署跡地

歳出では、コロナ禍により中止と決定したイベント事業費約5560万円、夏休み中に予定していた滝野東・南小学校や給食センターの空調等の工事中止で約4400万円を減額する一方、ふるさと納税推進のため、ポータルサイト運営会社委託料約1億4700万円、商店街等が取り組むポイントシール事業補助金4400万円、スカイピア等で整備する空調設備に換気機能を追加するため約2300万円を増額するなど、歳入歳出それぞれ約1億8千万円を増額する。

【問】中止した滝野東小学校の改修等の工事は、いつ行つのか。

【答】児童の学校生活や授業に支障のない部分は、今年度中に実施する方向で学校と調整を進めているが、教室については来年度に実施する予定である。

【問】危険性、緊急性はな
いということか。

【答】工事期間が取れないため、やむを得ないということ。直ちに工事が必要という箇所はない。

【問】給食センターの空調

工事はどうか。
【答】空調の利きが悪く労働条件が厳しい状況だが、緊急性はない。



学校給食センター内

【問】社地域小中一貫校の設計業務委託業者の選定に当たり、プロポーザル審査委員を1名増やす理由は。

【答】当初、外部からは学識経験者1名を予定していたが、開校準備委員会からも、プールに関していろいろ意見をいただいたので、1名入っていただくことにした。

【問】庁舎関連工事の410万円の内容は。

【答】旧滝野庁舎に、子ども家庭センターが入るための工事で、全額県費負担になる予定。

【問】ふるさと納税の返礼品で人気があるのは何か。



【答】ヨギボーというクッションが圧倒的に人気であり、単価も高く、一気に寄附額も増えた。

◆水道事業会計補正予算(2号)

兵庫教育大学山国施設の加入分担金について、裁判の結果、返還することになった特別損失486万2千円の計上など。

賛成多数可決

◆病院事業会計補正予算(3号)

新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金1520万円の追加など。

全会一致可決

◆税条例の一部改正

【趣旨】低未利用土地を売却した場合の長期譲渡所得に係る課税の特例の創設などによる所要の改正。

【問】低未利用土地の定義は、

【答】土地基本法に規定されており、都市計画区域内の土地で、居住用や事業に供されていない土地で、市長が認めたもの。

全会一致可決

◆給水条例の一部改正

産業厚生常任委員会に付託(→P9記事参照)

【反対討論】近隣市の条文がほとんど同じとの答弁だった

全会一致可決

たが、近隣市の取扱いは各市によって違う。円満に解決できるように、今回の経緯を整理してもらいたい。

【賛成討論】条文の見解が、読み手によって異なるなどの混乱を招かないようにするため、条例改正については賛成する。(小川)

賛成多数可決

◆令和元年度決算認定

決算特別委員会に付託(→P6・P7記事参照)

一般会計決算

【反対討論】もっと事務的経費を削減できる。(北原)

【賛成討論】市民満足度の視点で見ると、80点と及第点である。(廣畑)

東条小中一貫校建設費は、事業を分割し、費用を抑えられた。健全財政を堅持している。(高瀬)

◆市議会議員の報酬等の特例に関する条例(制定理由)

議員の職責及び議会への市民の信頼確保にかながみ、病氣療養等による長期欠席で職責が果たせない場合や、市民の信頼を損ねた場合、議員報酬及

び期末手当を減額又は支給停止するための条例で、議会運営委員会において検討を重ね、この度同委員会から提案したもの。施行期日は、本年11月1日。

【内容】病氣療養等により90日を超える場合は20%、180日を超える場合は30%、365日を超える場合は50%減額する。ただし、公務上の災害や妊娠・出産に伴う休暇は、長期休暇の期間に含まない。

刑事事件の被疑者等として逮捕等された場合は、その処分を受けた日から解かれるまでの期間、議員報酬及び期末手当の支給を停止する。ただし、不起訴となった場合や無罪が確定した場合、は、遡及して支給する。

議会において、出席停止の懲罰を科された場合、その期間の報酬は支給しない。

【問】将来、オンラインでの会議の開催、出席も可能となることが予測される。この条例はそれから制定してはどうか。

【答】オンラインでの会議開催と、今回の条例の内容は関係ない。

【反対討論】オンライン会議

の開催が可能となるのを待つべき。また、議員の高齢化が進むので反対する。

【賛成討論】オンライン会議や議員の高齢化とは全く関係ない。市民の信頼を確保するためにも必要で、賛成する。(小川)

賛成多数可決

北原豊議員に陳謝の懲罰

9月25日の本会議において北原豊議員は、令和元年度病院事業会計決算の認定議案に対し、反対の討論をしておきながら採決では賛成した。

この行為は「本会議等における審議・討論・採決の重みを理解しておらず、議会の品位・権威を失墜させる行為であり、議会人として行動と発言の責任の重さを自覚しただくため懲罰を科されたい。」との懲罰動議が議員3名から提出され、懲罰特別委員会及び本会議にて審議の結果、陳謝の懲罰を科することが決定された。北原豊議員は、議場において陳謝文を読み上げ陳謝した。

7月臨時会 一般会計補正予算を可決!!

～新型コロナウイルス感染症対策に4,740万円～

議会からの提案により小学生下校時にスクールバスを運行

7月臨時会は7月14日（会期1日）に開会し、新型コロナウイルス感染症対策に対応する令和2年度一般会計補正予算が提案され、全会一致で可決した。

この臨時会では、議会が提案した小学校の夏休みの期間変更に伴う小学生の下校時の熱中症予防対策としてスクールバスの運行が予算計上された。

◆一般会計補正予算(5号)

〔事業概要と補正額〕

《民生費》 児童館やアフタースクール、公立認定こども園、私立認定こども園等の感染症対策用の消毒液や備品等購入で2050万円増額。

《衛生費》 備蓄用マスクの購入等736万円増額。

《商工費》 市内ゴルフ場支援とゴルフのまち加東のPRのため「加東市ゴルフ振興券」発行事業として、加東市観光協会への補助金350万円を増額。

《教育費》 小学生の下校時スクールバス運行事業や、小中学校の感染症対策として学校長の判断で使える消耗品や備品購入費等1593万円増額。

【問】スクールバス運行事業の対象児童は。

【答】既に運行している鴨川小学校と滝野東小、滝野

南小学校以外の6校、15地区268人である。

【問】滝野地域が対象外なのはなぜか。

【答】基準を、通学班の集合場所から学校への距離を直線距離で半径2km以上としたため対象外となった。

【問】バス運行の委託先は。

【答】市内のバス事業者や、タクシー等の利用を想定している。



【問】私立認定こども園等への感染症対策補助金の基準は。

【答】認可外保育施設を含め、1施設一律上限50万円である。

【問】ゴルフ振興券の対象は加東市民限定か。

【答】市内外から広く募集したい。



加東市マスコット 加東伝の助

【問】ゴルフアールへの補助ではなく、ゴルフ場へ直接補助をすべきでは。

【答】ゴルフアールに振興券を発行することで、ゴルフ場支援と観光振興につながる。

【問】備蓄用マスクの在庫数と今回の購入枚数は。

【答】在庫枚数は10万枚で、さらに10万枚購入して20万枚を備蓄する。

【問】学校長の判断で使える消耗品や備品購入費等の金額は決まっているのか。

【答】児童、生徒数で学校ごとで上限が変わってくるが、45万円から110万円となる。

全会一致可決

第92回臨時会・第93回定例会 議決結果一覧(賛否の分かれたもの)

○・・・賛成 ×・・・反対

議案番号	議案名	北原 豊	別府みどり	鷹尾 直人	廣畑 貞一	古跡 和夫	大畑 千代	高瀬 俊介	長谷川 幹雄	石井 雅彦	岸本 眞知子	小川 忠市	小紫 泰良	藤尾 潔	桑村 繁則	山本 通廣	井上 茂和	議決結果
第64号	令和2年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決(賛成14 反対1)
第70号	給水条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	可決(賛成14 反対1)
第71号	市立小学校及び中学校設置に関する条例の一部改正	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(賛成13 反対2)
認定第1号	令和元年度一般会計決算の認定	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(賛成13 反対2)
議員提出第3号	議会委員会条例及び議会基本条例の一部改正	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(賛成14 反対1)
議員提出第4号	議会議員の議員報酬等の特例に関する条例制定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(賛成14 反対1)

※その他の議案は全て全会一致で可決した。

～令和元年度事業を総点検～

一般会計4億6千万円の実質黒字決算を認定 次年度の予算反映へ13項目の意見を市長に提出!

【一般会計の決算概要】 歳入は191億6千万円、歳出は184億8千万円となり、差引収支は6億8千万円となった。その内、繰越事業に伴う一般財源等所要額2億2,600万円を差し引き、実質4億6千万円の黒字決算となった。

【令和元年度主な事業】



【発達サポートセンター運営事業】
旧社こども園舎を改修し、発達サポートセンター「はぴあ」を移し事業を拡充

【東条地域小中一貫校整備事業】
一貫校建設地の解体・造成工事の着手



【消防施設整備事業】
加東消防署東条出張所に隣接したドクターヘリ離着陸場の整備



令和元年度決算は、議長を除く全議員で構成する決算特別委員会（大畑一千代委員長）を設置し、9月7日から9月15日までの4日間で集中的に審査を行った。結果、一般会計と病院事業会計は賛成多数で、その他の会計を全会一致で認定した。また、予算・決算のPDCAサイクルを確立し、次年度予算へ反映してもらうことを目的に各事業の決算に対し、13項目の意見を市長に提出した。

総括質疑

【問】黒字決算は、各事務事業が当初予算の目的通りに確実、適切、効果的に執行した結果か。

【答】各種事業の執行は、その目的に沿って着実に進めた。また、計画通りの財源確保ができたことも結果的に黒字決算となった。

部署別の質疑・応答

市民協働部

【問】マイナンバー制度導入で、国民健康保険未加入者の把握はできたのか。

【答】健康保険証としては、来年3月からの運用のため、今現在では把握できない。

【問】市のマイナンバーカードの普及率は約22%で県下5位だが、普及率向上への取組は。

【答】休日の窓口開設や事業所を訪問して普及活動を行った。今後は健康保険証として活用されることから普及率を上げたい。

【問】夏場はごみ収集場でペットボトルごみが溢れているが、収集日を増やすことはできないか。

【答】収集日を増やすことは困難。市内店舗での店頭回収もあわせて利用して欲しい。

産業振興部

【問】ため池マップを配布して周知してはどうか。

【答】ため池の浸水被害想定区域図を策定し、ネットで公開している。これと併せて配布については検討する。

【問】青年等就農給付金を給付した新規就農者は、継続して就農しているか。

【答】これまでに3名の方が継続して営農している。

【問】ゴルフ協会補助金の効果で入込み客数はどうか。

【答】令和元年度は平成30年度と比較して約1万2800人増えた。

健康福祉部

【問】発達障害児早期支援事業の実施状況は。

【答】まずは健康課が相談に応じ、発達支援が必要な場合は、発達サポートセンターに繋いで医師の診断を受けていただく。

【問】生活支援サポート事業で、依頼側と支援側のバランスは取れていたか。

【答】依頼者にはお断りすることなく支援サービスの提供ができた。

病院事業部

【問】年間総収支が約▲5460万円だが、コロナによる影響額はいくらか。

【答】約▲2200万円。コロナがなければ、約▲3200万円の総収支であった。

【問】一般会計から繰入れても、当年度純損失が約6400万円であった。このままでは、いずれ資金ショートを起こすが、それでも市民の病院として維持し続けるのか。

【答】さらなる経営改善を進めながら、市民から必要とされる病院として継続していきたい。

こども未来部

【問】不登校児童生徒対策への取組は。

【答】児童生徒や保護者に対して、社会と切り離さないような支援を継続している。実際には実を結ばないこともあるが、粘り強く支援していきたい。

【問】特定の園を希望して入所保留となった児童数は、保護者の事情に配慮した対応をしているのか。

【答】入所保留は47名。現在、第5希望まで聞きながら入所調整を行っている。

【問】アフタースクールの待機児童数とその対応は。

【答】施設規模の関係で滝野地域では20名いたが、現在学校の教室を利用することで対応している。

教育振興部

【問】学校給食で、米飯費や牛乳費の割合が高く副食費を圧迫し、質に影響を及ぼしていないか。

【答】市から1食当たり約50円補助している。近隣市町より費用もかけ、質等も充実して提供している。

【問】東条文化会館トイレ改修工事の設計・積算業務を、まちづくり技術センターに随意契約で委託した理由は。

【答】かなり複雑な設備改修が伴う工事であり、経験や知識が豊富な元県職の技術者で構成するまちづくり技術センターに指導を仰ぐこととしたため。

上下水道部

【問】嬉野東地区について、当初給水計画戸数の通りい

かなければ、市の立替金が回収できないのではないかと。戸数が増える可能性もある。今後自治会と協力して加入促進を図る。

まちづくり政策部

【問】ふるさと納税促進のため行った、首都圏マンションへのチラシポストインの効果は。

【答】想像以上の効果をもたらした。今後は関西圏も活動を展開する。

【問】まちの拠点づくりコンソーシアム事業は、交流とにぎわい創出に効果があったのか。

【答】Bio2階の多目的ホールの来場者数が徐々に伸びており、利用者も満足していただいている。

都市整備部

【問】結婚新生活支援補助実施件数が2件となっているが、どのような周知・啓発を行っているのか。

【答】案内チラシを業者に郵送したり、市民課窓口において周知した。

【問】特別指定区域（新規居住者）制度の指定は進んだのか。

【答】市内2地区に説明して概ね合意でき、今後は県と協議を進めていく。

【問】市道等の白線が消えて走行しにくい場所が多いが、実態の把握状況と今後の対応は。

【答】地区要望や道路パトロール等で状況を把握しており、今後は予算を確保して対応していく。

総務財政部

【問】庁舎内照明のLED照明交換事業の効果は。

【答】直ぐに目に見える効果はないが、長期的な効果が期待できる。

【問】市税等で不納欠損処理金が倍増している要因は。

【答】財産を差し押さえして公売してもなお、資産がなく生活困窮であると判断した結果である。

一般会計反対討論

パソコン保守費用など、無駄遣いであるため認定できない。（北原）

一般会計賛成討論

効率的な市政運営を行い、各種決算指数も健全であり認定に賛成する。（井上）

賛成多数可決

市長へ提出した意見（抜粋）

- ☆ シティプロモーションアプリKATTOの運用は廃止・縮小も検討すること。
- ☆ 道路の安全性を維持することは道路管理者の責務であり、改良や修繕に早期に対応すること。
- ☆ 総合窓口の待ち時間の短縮や事務の軽減になる工夫を行うこと。
- ☆ 結婚新生活支援事業は、事業の目的を再認識し、市が積極的に関わる取組を行うこと。
- ☆ 全市的な市街化調整区域における旧既存宅地の活用政策の方針について再検討すること。
- ☆ こども園とアフタースクールについては、待機児童の解消に向けて積極的な施策を講じること。
- ☆ 各施設管理は、定期的に調査して緊急性の高い修繕箇所は早期対応を行うこと。

※その他の意見については議会ホームページをご覧ください。



全ての子どもたちの未来に向け 審査・調査をしました

付託議案審査

市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

- ① こどものための教育・保育給付に係る用語の定義の整理
- ② 利用者負担額（保育料）の支払いを満3歳未満に限定する。
- ③ 食事の提供に要する費用の取扱いの変更

■認定区分・子どもの区分

子ども・子育て支援法第19条第1項各号で規定する認定区分	3歳の誕生日					
	0歳 1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
	教育・保育給付認定子ども		1号	2号		
	3号					

加東市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例で規定する子どもの区分	3歳の誕生日					
	0歳 1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
				教育認定子ども	満3歳以上教育・保育給付認定子ども	
			※第3章における「満3歳未満保育認定子ども」	満3歳以上保育認定子ども		
			満3歳未満保育認定子ども	特定満3歳以上保育認定子ども		

■幼児教育・保育の無償化 食事の提供に要する費用の取扱いの変更

無償化前 令和元年9月まで			無償化後 令和元年10月以降		
教育認定子ども	満3歳以上保育認定子ども	満3歳未満保育認定子ども	教育認定子ども	満3歳以上保育認定子ども	満3歳未満保育認定子ども
保育料	保育料	保育料	無償化 保育料0円	無償化 保育料0円	保育料
副食費 実費	副食費 保育料に含む	副食費 保育料に含む	副食費 実費	副食費 実費	副食費 保育料に含む
主食費 実費	主食費 実費	主食費 保育料に含む	免除規定の創設 主食費 実費	主食費 実費	主食費 保育料に含む

所管事務調査

社地域小中一貫校基本・実施設計作成業務委託に係る公募型プロポーザルの審査結果

【内容】

2024年（令和6年）春、社中学校と5小学校が統合し、開校を目指す社地域小中一貫校の基本・実施設計作成業務受託業者が決定した。その業者が提出した企画提案書（概要版）をもとに、説明を受けた。

【問】中庭になる「やしろのにわ」は自然芝なのか人工芝なのか。

【答】維持管理のコスト面から、人工芝仕様の広場としている。

【問】この図面では遊具が少ないようであるが。

【答】遊具は、「やしろのにわ」と小グラウンドにも配置している。

【問】校舎をつなぐ「みんなのホール」の屋根には、ソーラーパネルを設置するのか。

【答】この屋根には、ソーラーパネルは設置しない。



いつも賑わいがある「みんなのホール」



地域のシンボルとなる交流広場「やしろのにわ」

社地域小中一貫校のイメージ図

市立小中学校における新型コロナウイルス感染症対策及び学習保障と状況

【問】授業時間は確保されているが、授業のスピードや積み残しが起きないか。

【答】行事等の準備時間をできる限り削減し、授業に支障の出ないように、各校工夫をすることで、学びの保障が確実にできるよう、取り組んでいる。

【問】修学旅行は、GOTOトラベルキャンペーンの対象になるのか。

【答】対象のため、割引になる。これを活用して修学旅行に行かせてやりたい。ただし、感染がおさまっていない状況であるので、悩ましいところである。

【問】児童、生徒に、アイスタオルと日傘を配付されたが、利用状況は把握されているか。

【答】具体的な数は確認していないが、保護者の方々から、「ありがたい、活用する」と教育委員会にも電話が入っている。

その他の所管事務調査項目

□加東市電子自治体推進計画の進捗状況について

□学校給食における新型コロナウイルス感染症防止対策の状況について

□令和元年度指定管理者導入施設のモニタリング（業務の履行状況）について

給水条例の 一部改正を可決！

こんな審査・調査をしました

付託議案審査

市給水条例の一部を改正する条例制定

【理由】兵庫教育大学山国施設における水道加入分担金に関し、条例の解釈が訴訟において争点となったため。訴訟は、市の上告を最高裁が不受理とした。

【改正内容】共同住宅に設置する給水装置の工事の申込者が納入する加入分担金の要件を明確にするため、所要の改正を行う。

【問】近隣市町の給水条例の条文の調査はしたのか。

【答】似たような条例になっている。ある市町はその変更行為は不可という自治体もある。一方、加東市と同じような扱いをしている自治体もあり、大きく分けると2つに類型化される。

【問】市の条例が他市町とほぼ一緒であるならば、どの部分が同じなのか。

【答】加入分担金の取り扱い部分については、他市町においても負担の公平に配慮した運用をしていることを確認している。



兵庫教育大学山国施設

賛成討論

【問】今後加入分担金を徴収できるように条例を改正するがこれまでの一連の経緯を総括すべきではないか。

【答】基本整理はしている。それをどのように市民に對して発信していくのかだと思っている。

全会一致可決
(小川)

所管事務調査

新型コロナウイルス感染症に対する中小企業事業者持続支援事業の実施状況について

【概要】売上の減少が生じている市内の中小事業者を対象に「中小企業者持続支援給付金（1事業所10万円）」を支給し、事業継続を支援する。

【事業実績】給付総額17390万円（739事業所）

【問】予算執行が41%だが支給期間を延長すべきではないか。

【答】この支援策については一旦終了するが、さらなる必要性に応じて新たな対策を講じたい。

【問】ワンチーム商品券事業の効果的な分析結果が出る時期は。

【答】現段階では成果は分らないがワンチーム商品券は約80%の市民が引き換えていることから、ニーズとしては非常に高く有効的な施策であったと考えている。

中小企業事業者持続支援事業実績

【受付件数】

	事業所数(件)	割合(%)
個人	489	64.6
法人	268	35.4
合計	757	100.0

【審査結果】

	事業所数(件)	割合(%)
支給決定	473	64.0
個人	266	36.0
法人	266	36.0
合計	739	100.0

その他の所管事務調査項目

- 生活困窮者自立支援事業の現状と課題・今後の方針について
- 外出自粛下における高齢者の健康状況及び支援について
- 令和元年度指定管理者導入施設のモニタリング（業務の履行状況）について
- 加東市民病院の業務及び経営状況（令和2年度4半期分）について



東条学園建設業者のコロナ対策について

古跡和夫 議員

問 6月26日の本会議で、東条学園建設関係者にPCR検査を2回求めたことへの回答として、教育委員会は「県が示した対策等を基準に指導する」と答弁した。事は加東市民の命と健康にかかわる問題であり、なぜ県の対策が必要なのか、県の対策を聞くシステムになっているのか、具体的に県からの指導はあったのか。

答 県が定めた、コロナに関する対処方針及びひょうごスタイルに基づいて業者を指導する考えで回答した。

問 加東市の対策本部では建設業者への指導を検討しなかったのか。

答 対策本部では、個別の協議は行っていないが、加東市全体の感染予防を図る協議を行った。

問 国土交通省が通知した新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインに基づいて、業者と話し合いを行ったのか。

答 工事請負業者に対しては、工程会議の中で、通達を遵守するように指導した。

○コロナ対策と20人学級の必要性について

問 今回のコロナを受けて、知事会や市長会をはじめ様々なところから一ク

ラス20人の声が上がっている。教師がすべての子どもを目に入れ、一人一人の声を聴くことができる条件として必要だと思うが市の考えは。

答 現在の身体的距離は1m取り、20人なら教室内でゆとりを持ち、密を避けることができるが、コロナ対策以外では20人学級体制を考えていない。市として一クラス35人を県や国に求めているが、あまりに少人数になると多様性や人との関わり合いの機会が少なくなるなどの課題がある。

問 教育再生実行会議で、30人未満の意見が出たが反対はなかった。萩生田文科相も多くの方が方向性として共有できる課題と述べている。中央教育審議会の部会や全国の校長会などからも少人数学級が求められている。

答 もちろん各教科の内容によって少人数での方がよいものがある。建設予定の学校では、30人学級での対応とまではいかないが、少人数での学習を行うことについては、担保できる。

問 社地域小中一貫校は一クラス40人、全体の流れが私の言う20人でなく、30人未満になっている中で、一クラスの人数について対応が求められるのでは。
答 現時点では、そこまで対応する考えはない。



新型コロナウイルス感染症対策について

桑村繁則 議員

問 市内事業者等の影響と、新型コロナウイルス感染症対策関連事業の実施状況について。

答 個人消費が大きく低迷している。加東市は中小企業者持続支援給付金・ワンチーム商品券等で大きな支援策を展開している。7月1日から8月末で発行率77%、6億1700万円の商品券が購入されている。また、利用できる事業者は332店舗となっていて有効な施策と捉えている。中小企業者持続支援給付金は商工会と連携し、市内41%、739件に支給した。

問 市民の相談窓口は設置されたか。

答 新型コロナウイルス感染症の相談窓口は設置していないが、市民の方から発熱などの症状や受診、マスク、消毒液の購入、感染に対する不安の相談が寄せられている。令和2年2月から9月10日まで142件あり、健康課において個別に対応している。また、特別定額給付金・中小企業者持続支援給付金・ワンチーム商品券等の専用相談窓口を設置し、申請の支援を行った。特別定額給付金では、庁舎1階に5月18日から6月5日まで専用窓口を設置し、高齢者、外国人の方など申請の支援の必要な方791人に支援をした。

問 景気動向・税収の影響は。

答 兵庫県経済研究所によると、コロナ禍の影響で、景気は全体に悪化している。市税については、8月末時点の徴収額額は、国民健康保険税を除いて約1億8500万円となっている。

問 本市の児童・生徒へはどのような影響があったか、重要な役割を担う修学旅行、野外活動等はどうに考えているか。

答 心理的な不安が大きかった。修学旅行・自然学校については、可能な限り実施できるように準備を進めている。感染状況により、感染リスクの低い活動内容とし、感染防止マニュアルに従い実施する。中止の最終判断は8日前にする。また、キャンセル料が発生した場合場合は市費で対応したい。

○乗合タクシー事業の進捗状況

問 乗合タクシー事業の進捗状況は。

答 7月から運行しているが、新型コロナウイルスの影響もあり、8月末時点で1日の平均利用者は4・61人で当初目標には達していない。今後、公共施設をはじめ関係地区内、商業施設等にポスターの掲示を増やし、さらなる周知を図る。また、関係地区の代表者と意見交換を行い、試験運行の検証を行いながら利便性の向上を図る。



主要地方道県道小野藍本線天神バイパスの整備と 東条地域小中一貫校への通学の安全対策について

鷹尾 直人 議員

問 6月定例会閉会時に市長から、「天神バイパスについて、加東土木事務所から、用地補償契約と所有権移転登記が完了し、埋蔵文化財の調査後に、工事を行うと聞いている」との報告があった。昨年の市幹部職員と東条東地区長との意見交換会で「天神バイパスの開通に向け努力して欲しい」「東条学園の開校時には、開通するのか」との意見が出ていた。それだけ地域住民の関心は高い。「道路工事のスケジュール」と、この道路が完成すれば、現在検討している「東条学園への通学路」の見直しはするのか。

答 加東土木事務所は、校舎の供用開始が令和4年1月であることを十分認識されている。埋蔵文化財の調査内容により調査期間が大幅に異なることを想定しながらも、工事の入札を9月末に執行し、11月に工事着手、来年12月までに工事を完成させる予定である。通学路の見直しについては、学校並びにPTAと連携を取り、再検討する。

○山林に隣接した住宅の消火活動
問 8月21日に秋津台付近(西戸)で発生した民家火災は、隣接する周辺の林などに燃え移るのではないかと心配した。市内には他にも山林分譲地があるが、一つ間違うと大変なことになる。

消防署では、山林分譲地での消火活動に対してどのような準備をしているか。

答 山林分譲地の特徴としては、道路幅が狭く、水利が少なく、目標物もない。そこで非常時、特に、火災発生時のために、平時から市内の山林分譲地毎に「警防調査(消防車両が通行できるかなどの地理面の調査や池の水量などの水利に対する調査)」を行っている。調査結果を指令センターの地図検索システムや住宅地図に反映させ、無駄なく出動できる体制を整備している。火災発生時には、この地図検索システムを活用し、現場に急行する。

○夏季休業中の教育活動に対する総括
問 新型コロナウイルス感染症の関係で、夏季休業中の教育活動となったが、どのように総括しているか。

答 授業日を22日間確保し、小中学校とも空調設備により通常の授業が進められ、8月末時点で一学期の学習内容がほぼ終了できた。心配されていた中学3年生は、ケーブルテレビでの授業放送の効果もあり、習熟度テストの結果が昨年よりも良くなっていた。

しかしながら、本来の学習順序で教育活動が進められていないため、学習の整理が必要な教科は、学期末や学年末で振り返り学習の時間も必要となる。



新型コロナウイルス感染症が及ぼす 市政運営への影響について

小川 忠市 議員

問 新型コロナウイルス感染症が及ぼす市政運営への影響の認識は。

答 8月末時点の市税の徴収猶予額は、国民健康保険税を除いて約1億8500万円となっている。この内、令和3年度への繰越見込み額は現時点で推計は困難である。また、消費落ち込みによる地方消費税交付金の減収などにより、確実に歳入不足が生じることを予測している。このような財政状況ではあるが、新型コロナウイルス感染症対策が必要となる事業については、財政調整基金の取り崩しで対応し積極的に取り組んでいく。

問 総合計画に掲げた施策への影響と3か年実施計画見直しの必要性は。

答 感染症の影響で中止した事業はイベントなど限定的であり、第二次総合計画の施策の推進には大きな影響はない。

3か年実施計画は、行政評価システムにより毎年度末に見直ししており、年度途中の見直しは必要はない。

問 令和3年度予算編成の方針と各事業の見直しの必要性は。

答 予算要求時点で市税等減収の影響額を推計することは困難であり、3か年実施計画で予定の事業は見直しを行わず予算要求を受け付ける。

ただし、予算査定のプロセスで事業の見直しを行うことはあり得る。

問 財政計画の見直しの必要性は。

答 市税等の令和3年度以降の影響額を現時点で推計するのは困難であるため、経済成長率については設定せず例年通り10月に見直す。

○定住・移住促進について

問 新型コロナウイルスの感染拡大を機に、都市部より「3密」になりにくく、テレワークの普及などから地方への移住が注目を集めているが、市も今回を機に定住・移住促進のための研究をすべきと思うが。

答 加東市は大阪や神戸へのアクセスが良好である強みを有することから、東京圏に加え関西圏都市部におけるリモートワークや、サテライトオフィス等の普及状況に鑑みた定住・移住促進の実例、事例を調査し実現可能性を研究し取り組んでいきたい。





学校再開後の新しい常識・状況(ニューノーマル)への課題に向けた対策について

廣畑 貞一 議員

問 タブレット導入を見据えた教育課程が編成されているのか問う。

答 一人一人の学力に応じた個別学習、お互いの考えを交流し深める協同学習、学んだことをまとめ発信するプレゼンテーション活動等を効果的に行うためのツールとしてタブレットを活用し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化された教育・創造性を育む教育の実現を目指す。

問 オンライン学習と対面学習の授業時数バランスに配慮された教育課程になっているのか問う。

答 各学校で創意工夫を行っているところである。授業時数を教育課程の中で示すことは難しい。教員の説明や、オンラインの活用等による分かりやすい授業と感染対策を行った上での対面学習を効果的に組み合わせ、主体的・対話的で深い学びの実現を目指している。

問 学校教育の未来に向け再構築の方策として

- ・タブレットを活用した反転授業を導入する考えはあるのか。
- ・オンライン学習の様式の方角性を考えているか。
- ・新たな教育構造への取り組みについて問う。

答 ICT活用は、教育活動の一部と捉えている。大切なことは、児童生徒の学びを保障し、将来の予測が難しい社会において、自立して力強く生きていく力を育むこと。各学校では児童生徒がより効果的に学べるように個別最適化、創造性を育む教育の実現を目指し、創意工夫しながら教育活動を行っていく。

○東条学園開校に向け全通学路の安全確保の点検・整備について

問 南山西交差点に歩行者用信号機の設置はできないのか。

答 従来からの状況の変化を捉え、加東警察署に要望を行い、開校までに実現できるよう対応していく。

問 通学路の防犯カメラ設置について問う。

答 今年度で東条地域では、5か所設置を予定している。来年度、市内の通学路を中心に10か所程度設置予定である。

東条学園で新たに通学路が設定されるため、防犯上・交通安全上必要などところを見極め優先的に設置を進めていく。



バスターミナルにおいて現在確保できているバス便数の詳細について

北原 豊 議員

問 現時点で、どこまで通勤時間帯に、バスターミナルを使用するバスの便数確保、それ以外の時間帯、このバスターミナルを使用するバスの各便数を確保できるのか、お教え願う。

答 バスターミナル完成後の乗り入れ路線やダイヤについては、交渉中であるため、現時点では確定していないが、市内を走る広域の幹線路線のバスはこのバスターミナルを発着、経由されるよう、また通勤時間帯である朝夕の運行など、より利用しやすいダイヤの実現に向け、引き続き神姫バス株式会社及び西日本ジェイアールバスと鋭意協議していく。

問 このような計画で市が動いてもいいのか。

答 バスターミナルへの乗り入れのバスであるとか、ダイヤについては、これまでからも協議をしており、これからも引き続き協議をして、より利用しやすいダイヤの実現に向けて取り組んでいきたい。

○小中一貫校における4年生のリーダーシップの具体例について

問 4・3・2制の小中一貫校においての4年生のリーダーシップの具体例を5つだけ、簡潔にお教え願う。

答 入学したばかりの1年生が学校内のどこに何があるかを知るために学校探検を行うが、その際の案内役として活躍すること。安全な学校生活を送るために正しい遊具の使い方を教えること。初めて図書室を使う際に本の貸し出しのルールを教えること。1年生から4年生までの第1ステージで集会を行う際の司会進行すること、また1年生歓迎集会の企画、運営を行うことなど、日常の教育活動の中で数多くの場面が考えられる。

問 図書室の使い方方を1回教えるだけでリーダーシップがとれるのか。

答 図書室の使い方を教えるのは、あくまでも1つの例である。

その他の質問

- 法改正により東条学園は、完成直後、移設必要物件となる件について
- 現東条中学校校舎を撤去した場合、地すべりの安全率低下について
- 市が購入したオゾン発生装置が新型コロナウイルスに対してほとんど効果がない件について

職員の自己都合退職及び長期休暇について



大畑 一千代 議員

問 前年度中の自己都合退職が13人、若い係長や主査、主事が辞めている。心身の故障による長期休暇も含め、原因の究明、把握に努めているか。今後の対応は。

答 若い職員、ベテランの域に達した職員が退職するのは残念。ライフステージの節目での退職が8名、長期休暇中の退職が5名。退職理由を詳細に把握しているわけではない。

メンタルヘルス不調での分限休職は、現在2名で状況は把握している。単に復帰は求めず、十分に業務に耐え得ると判断できるまで療養したうえで復帰を促している。

問 早期退職や長期休暇の原因が、上司のパワハラや同僚などからのいじめということはないのか。

答 職務には高い信頼性が求められる。部下の仕事のやり方や心構えに問題があった場合は厳しい口調で指導することもあり、相談を受けることもあるが、慎重に確認したところパワハラに該当する事象はない。

コロナ禍対策について

問 特別定額給付金について、4月28日以降に生まれ対象にならなかった新生児に対し、少子化対策も兼ね市単独

でも10万円を給付すべきではないか。せっかく生まれてきたのに、「もう1日早く生まれていたら」なんでもっと早く生まなかつたんや」と言われると、嬉しさも、めでたさも、半減。

答 給付する方向で検討しているが、すでに妊産婦臨時給付金5万円を給付している方は、公平性から5万円としたい。

問 コロナ禍対策に限らず、このような課題に対応するための庁内提案制度は。部・課の枠を越えてアイデアを出し合い、検討協議が必要と思うが。

答 昨年度、若手職員提案制度を導入した。全職員の提案制度も研究している。重要な課題は、政策会議で協議している。

山田錦と地域農業活性化ビジョン

問 コロナ禍による日本酒の消費激減で、さらに作付面積の削減が予想されるが、見通しは。

答 JA取扱いの本年産は15%作付減。来年度はさらに拍車がかかり、減産が予測されるが、産地崩壊にならないよう関係機関とともに努力する。

災害時の避難所の対応、避難対応ツールについて



長谷川 幹雄 議員

問 避難所対応については。

答 避難所開設、運営については従前の避難所マニュアルの見直しを行い避難所開設に関わるマニュアルは、職員に周知済みである。長期間にわたる避難所対応の運営マニュアルの作成を現在行っている。職員・地域の方・避難者の動きをマニュアル化し、円滑に避難所運営できるように進める。

問 管理面において、犬の事前把握のため登録件数の区長への公表は可能か。

答 避難所でのペットの対応は重要と考えている。緊急避難時に、ペットがいることにより避難を躊躇することがあつてはならない。ペットの飼育は飼い主の責任において行うことを前提としている。避難所ごとに「ペット登録台帳」を作成し、ペット同行避難者に記入していただき、飼い主で組織を立ち上げペットの対応を主体的に行っている。ただため、公表は必要ないと考えている。

問 避難訓練等のできていない地区への指導や今後の対応は。

答 現在も全ての地区で避難訓練ができていない状況ではない。自主防災組織の訓練として、最も多く報告を受けているのが初期消火訓練である。訓練には様々なものがあり、避難訓練の他に、救出・救護訓練、情報収集・伝達訓練、

炊き出し訓練、ワークシヨップ、防災講話などがある。避難訓練だけでなく地域コミュニケーションの中で、防災や災害に対する個々の意識の向上を図ることが重要であると考えている。区長会を通して様々な訓練の開催を呼びかけ、開催に関して可能な限り支援をしていく。県が作成した、自主防災組織活動の手引きと事例が掲載された冊子「防災訓練はじめての一步」を全地区に配布したので、活用し訓練の必要性を呼びかけていく。

問 避難対応ツールについての今後の対応は。

答 市においても開発導入されれば、災害時に有効かつ強力なツールとなり得るものであると認識している。先進的な取組事例や国・県、他団体の動向を踏まえ、段階的な導入も視野に、研究・情報収集を進めていく。





来年度東条学園の開校に向けて
行事・教育方針等の調整は進んでいるか

藤尾 潔 議員

問 今年度で現行の東条中学校、東条東・西小学校が閉校となる。本来なら閉校に向けてイベント等も行われるところであるが、コロナウィルス流行の影響で順調に行っていない面もあるのかと思う。現状は。

答 閉校の式典等、各学校で調整を行っている。

問 現在各学校で行われている特色ある教育（東条の匠、東条川の自然学習、坂本遠さんとの関わり、開魂園など）について、新しい学校ではどうするのか。

答 新しい学校でも、東条の教育資源は活かしていきたい。

問 新しい学校での行事の運営方針は決まっているのか。運動会の方法や、義務教育学校として6年生の卒業式、7年生の入学式などはあるのか。あるならば、7年生の入学式は、来年4月だが、決まっているか。

答 行事の意義を鑑み、検討を進めている。入学式については、毎月学校関係者が集まり検討を進めている。

問 東条は義務教育学校となるが、社・滝野の学校種別はどうなるか。

答 小学校と中学校を併設した形の一貫校とする。

問 東条では義務教育学校、社と滝野では小・中学校の併設という形で、異

なる種別の学校が混在した場合に、問題は生じないのか。

答 問題は生じないと考えている。

○電子自治体の推進について

問 マイナンバーカードの普及も徐々に進んでいるが、本来の目的は行政手続きの簡素化である。児童手当の現況届について、オンラインで完結することとはできないのか。他市では実施している事例もある。

答 年金の加入状況を一括照会する機能が整備できていなかったため、今年度は対応できなかった。その機能が9月に追加されたので、来年度からはオンラインで完結する。

問 保育園等の入園手続きについてはどうか。

答 就労証明書の原本を提出いただくため、オンラインで完結できていない。

問 公共施設の予約でも、ネットで仮予約し、窓口に行かねばならない。

答 市内・市外で料金が変わることもあり、対面でお話をしたい。

問 そのようにできない理由ばかり並べていけば何も進まない。

答 決してそういうつもりはない。前向きに取り組む。



市民協働投稿サービス(My City Report)を用いた道路維持管理について

別府 みどり 議員

問 マイシティレポートは、市民と行政が協働して、まちの課題に取り組むことができるスマートフォンアプリである。使い方は、道路の損傷などを発見した市民の方が、該当箇所の写真を撮って送信すると、市はその情報によって場所の特定や状態の把握がしやすくなり、効率的な管理が期待できるものである。道路の安全性向上のため、また市民満足度向上にも繋がると考えるが、導入への考えは。

答 大変有用なツールであると認識している。マイシティレポートのほかに、通信アプリLINE(ライン)を利用した同様のツールを導入している自治体もあり、どの方法が良いか、導入に向けた研究を進めていく。

問 試験運用(お試し期間)があるようだが、導入はされないか。

答 マイシティレポートは、すでにアプリを入れ、実証実験を始めている。今後、他のツールについても研究する。



出典：My City Report for citizens
<https://www.mycityreport.jp/>

○新型コロナウイルス感染時の誹謗中傷対策について

問 感染に対する誹謗中傷に関しては、全国的にも様々な人権侵害の問題が起きている。誹謗中傷によって、より感染時の恐怖感が増し、体調が悪くても受診しづらいような問題が起こるとさらなる感染拡大につながるというた負の連鎖を引き起こす。市としての情報公開と個人情報保護の関係性について、どのように留意しているか。

答 患者発生時の情報提供について、国のガイドラインにおいては、個人情報報の公表範囲について、プライバシーの保護と公益性のバランスを考慮する必要があるとされている。現状、県の健康福祉事務所では、年代・性別・職業・居住地・症状・発症日・渡航歴・感染経路等について、本人の承諾を得られた範囲で公表しており、本市においても県の公表情報と同じ内容を補完的に公表している。加東市としては、感染対策を検討するうえで、市町名の公表は必要なのではないかという認識であるが、一方で、公表情報を組み合わせること、個人が特定されてしまうリスクがあるとの考えもある。感染拡大防止のために有益な情報の公表は必要であるが、情報公開にあたっては細心の注意を払う。



コミュニケーション支援ツール 「UDトーク」の活用について

岸本眞知子 議員

問 コミュニケーション支援ツール

「UDトーク」は、高齢者や障がい者の方の読み書きを支援するバリアフリーアプリとして開発されたが、その音声認識の高さから言語バリアフリーを掲げる多言語対応の同時翻訳アプリとしても発展している。また、音声を利用するアルタイムに文字で表示ができ、この活用は、福祉のみならず、通常の会議時にも活用できるアプリである。市役所での必要とされる窓口に導入の考えはあるか。

答 ろう者の方には、手話が一番使いやすいコミュニケーションツールであり、手話通訳士での対応をしている。高齢者や難聴者の方には、集音機を使用して対応している。使用している機器との比較などを行いつつ、UDトークの有用性を調査する。

問 外国人対応多言語翻訳機を設置されているが、活用状況は。

答 多言語翻訳機は20台あり、市民課や健康課、加東市民病院などで活用している。企画政策課では、地区等にも活用いただける、貸し出し用の多言語翻訳機を配置している。

問 学校教育では、一人一台のタブレットPCを導入されている。UDトークを使って会話を可視化することで時

短に繋がり、授業時間を有効的に使える。また、聞こえにくい子どもたちへの福祉のサポート手段にも繋がると思われる。教育機関での利用の見解を。

答 これまでから、支援を要する児童生徒の実態に応じて、人的配置や教育環境の整備といった必要な支援を行ってきている。困っている本人にとって課題解消に繋がるか、合理的配慮として適切かという視点で、導入の検討を行う。

○食品ロス削減の取組み「フードドライブ」について

問 「フードドライブ」の取り組みに至った経緯、また、集まった食品の有効利用法は。

答 平成29年度から支援を必要とする生活困窮者への食糧支援を迅速に行うために、加東市社会福祉協議会内で完結できる「フードドライブ」の取り組みが始まった。毎月第一金曜日を「フードドライブの日」と定め、社、滝野、東条の各福祉センターで寄付を受けられている。集まった食糧は、生活困窮相談において支援を必要とする人や、子ども食堂を運営するNPO法人にも届けており、有効活用されている。

第54号のクイズ&アンケート解答といただいたご意見について

◎ クイズ ～2万円分の商品券を1万円で購入することができる「加東市ワンチーム商品券」～
*正解・・・・・・・・「ワンチーム」でした。

正解者の中から厳正な抽選の結果、5名の当選者の方に、1,000円の商品券の発送をもって発表とさせていただきます。また、たくさんのご意見をいただきましたので、ここにご紹介します。

新型コロナウイルスでは、近隣の自治体対応にまどわされず、じっくり一番何がよいか考えて行動していただきたい。予算もあると思います。

賛成多数の表現ではなく、議決結果一覧のような具体的な票数を記載してほしい。

⇒【回答】 議決結果一覧表に、各議員の賛否も合わせて記載しておりますので併せてご覧下さい。

コロナ関連の処理や作業の影響多々あると思います。連日、本当にお疲れ様です。こんな時ですからできる限り、地元企業や地元の特産品を優先し、消費したり、応援していきたいです。ワンチーム商品券も、うれしい試みで、家計にも地域にも助かっております。

笑顔で今年も過ごせますように願った令和2年元旦のはずでしたが、今は何とかコロナが落ち着きます様にです。

コロナで自宅にいることが多くなり、初めて議会だより読みました。(笑) 知らないことがいっぱいできてびっくりボン… (加東市民歴長いのに…)

Q&A方式で解りやすい。知らないところで色々な取組に関心がいっぱいです。一点、バスターミナルについてですが、設置場所が本誌から読み取れませんでした。予算の見方をシリーズで紹介しては如何でしょうか。

⇒【回答】 貴重なご意見ありがとうございます。予算の見方についてはシリーズ化ではなく、予算審議の記事を通してわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。なお、バスターミナルはやしろショッピングパークB i o南側に整備予定です。

いつも多数のご応募をいただきありがとうございます。今後も多くのご意見をいただきますようお願い申し上げます。

ギョツと！教育加東

最終回は、兵庫県立嬉野台生涯教育センターをご紹介します。このセンターは、昭和54年設立。四季折々の自然が美しい嬉野台で、全国に先駆けた生涯学習の中核的な拠点として40年余りに渡り活動されています。

小・中・高校生が参加するユースセミナーから、高齢者対象の生涯大学まで幅広い世代に向けた事業の実施、学校・企業・団体の活動や研修の場の提供等で、年間約15万人の方が利用しています。

平成15年度からは、「冒険教育」を通じて思いやりや困難に立ち向かう強い心を養う「ひょうご冒険教育(HAP)」という教育活動を推進されています。

その内容は、壁を登ったり、高所を歩くチャレンジや、みんなで行うゲーム等で、互いに知恵を出し合い、時に命綱を預けるなかで、コミュニケーション能力や信頼関係を育もうとするものです。県内外から延べ9万人が活用され、全国からも注目されています。

また、うれしの学園生涯大学では、4年制大学講座と2年制大学院講座を開設しており、東・北播磨地域の仲間の輪を広げ、田植えや弁論大会、調理実習等で市内の小・中・高等学校とも交流をしながら、高齢者の生きがいづくりや地域社会に貢献できる人材育成に取り組みられています。

コロナ禍において、「高齢者には、フレイル予防で外に出るの活動も大切です。換気設備を整備していますので、コロナと上手に付き合いつつ、施設を活用いただきたい。」と、藤原所長からコロナに負けない力強い意気込みを伺いました。

この全国屈指の学びの殿堂に、多くの市民の方々が訪れていたことを願います。



(廣畑貞二)

12月定例会

- 11月30日 定例会(初日)
- 12月 3日 総務文教常任委員会
- 4日 産業厚生常任委員会
- 17日 定例会(一般質問)
- 18日 定例会(一般質問・予備日)
- 24日 定例会(最終日)

いずれも9時30分開会です。

クイズ&アンケート募集

市民の皆様から、かとう市議会だよりへのご意見を聴かせていただくためクイズ&アンケートを行います。

クイズに正解し、かつ、ご意見を書いていただいた方から抽選で5名様に、加東市カード会加盟店で使える1,000円分の商品券を差し上げますので、奮ってご応募ください。なお、当選者の発表は商品券の発送をもってかえさせていただきます。

クイズ □に入る文字は？

議員が行った研修名は。
「□□□□□会議」

応募方法

- ① クイズの答え ② 市議会だよりや、市議会へのご意見 ③ 住所・氏名

をハガキにお書きの上、〒673-1493 加東市社50 加東市議会事務局Q & A係までお送りください。(12月21日必着)

編集後記

9月定例会の開会に合わせたように、加東市内でも一部で稲刈りが始まりました。7月の長雨でコシヒカリなど早生種の出穂は遅れたものの、8月以降の異常ともいえる猛暑と晴天続きで、山田錦の出穂も早生種の成熟も早まったようです。

ただ、心配なのは、コロナ禍による日本酒の消費激減から山田錦の需要が大きく落ち込んでいることです。この地で生まれて育てられてきた日本一

の酒米山田錦、丹精こめたにもかかわらず売れ残ってしまったのは、生産者としてはやり切れません。この議会だよりが発行される頃には、荒起しなど来年に向けての作業が始まっていることでしょう。

一日も早くコロナ禍が収束し、山田錦で醸した美味しいお酒を、多くの皆様が楽しくにぎやかに飲める日が来るように祈るばかりです。

さて、今のメンバーで作る最後の議会だよりとなりました。事務局の指導や手助け

はあるものの、録音を聞き直しながらの記事原稿の作成や写真撮影、イラスト選定など、ほとんどを委員が手分けして一般質問の記事は質問した議員)作っています。多くの地方議会が広報誌を発行していますが、ほとんどの作業を議員自ら行っているのは希少と聞きます。

写真が多いほうが見やすいとは思いますが、議案審議での質疑応答や論点を正確に伝えようとすると字数が増えてしまいます。

今回の議会だよりの評価は・・・クイズの答えとともにご意見をお聞かせください。よろしくお願いたします。

(大畑二千代)



議会広報委員会

- 委員長 山本 通廣
- 副委員長 小川 忠雄
- 委員 長谷川 幹雄
- 大畑 一和
- 古畑 千代
- 廣畑 貞一
- 北原 豊